

事業所名		児童発達支援とものわ個別療育教室		支援プログラム		作成日	令和7 年	1 月	24 日
法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します							
支援方針		○マンツーマンで個室にて専門的支援(言語聴覚訓練・太田ステージ評価による発達段階の課題)を実施します○得意な事・苦手な事を見極めお子さま一人ひとりに合わせたプログラムを立て支援します○保護者の皆様と対話を深め気軽にご相談いただけるよう気を配ります							
クラス		個 別 療 育							
営業時間		9 時 2 0 分 ～ 16 時 3 0 分の間で6単位（1人1時間）							
送 迎		な し							
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身の回りの事や日々の生活の中での動作に興味を持つ・習慣化を目指す 所持品整理や食事など身の回りの事につながる動作への興味や理解を深める。声掛けで促し習慣化できるように促す。							
	運動・感覚	手先の動かし方や話す時の口の動き等感覚を知る・筋力を付け正しく動かす 手指を使った活動(手先の運動・運筆や書字・箸の巧緻性・ボタンの留め外し)・口腔体操・ビジョントレーニング・姿勢（正しい姿勢で着座する）等							
	認知・行動	色・形・数等の概念の理解を目指す・状況を理解して適切な判断や行動ができる力を育む							
		絵本や遊び・ゲームなどの活動を通じて楽しみながら自然に概念に触れられるよう支援する・自由会話やＳＳＴ課題等の中で指導員がモデルケースを提示するなど 気持ちや状況の理解に目を向ける・気持ちの切り替え方や言葉で伝える手段など児に合った方法を一緒に探す							
	言語 コミュニケーション	それぞれに合ったコミュニケーションの獲得を目指す							
		相手と視線を合わせる・語彙やフレーズを増やし表現の幅を広げる・言葉の組み立て方を知り気持ちを相手に伝える・提示と模倣を繰り返し自分の言葉として表出する 相手の言葉を聞き理解する・人との関わりに興味を持つ・誰かとやり取りをする楽しさを知る							
	人間関係 社会性	ルールやマナーを知り社会性を育む							
		あいさつをする等登降所時のルーティンの習慣化・ルールを守る・話を最後まで聞く・決まり事がある事を知りルールに沿って取り組む力を育む・指導員の模倣をしたり ごっこ遊びを通して生活の中でのルールや人との関わり方等を知り、少しずつ身に付けていく							
家族支援		ご家族の悩みや困り事・今考えている事等お話を伺う体制を整える ・保護者の方とお子さまと一緒にご来所頂く事業所の為毎回フィードバック時に直接お話す時間がある・療育時間内に別室で面談を行う事も可能な為直接お話を伺う体制が整っている・話しやすい雰囲気作りを心掛け気軽にお話頂けるよう気を配る・問題解決に向け尽力する							
移行支援		本児・ご家族が安心して過ごせるよう支援する ・併用機関や移行先への情報提供を図る・本児やご家庭の思いを汲み取り、スムーズに次のステップへ移行できるよう助言を行う							
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園、他療育施設と日々の様子や支援内容を共有し、連携を図る							
職員の質の向上		外部のオンライン研修を受講し、研修内容を職員間で共有する 定期的にケース会議を開き、支援内容について話し合う		主な行事等		通常時はスタンプがたまれば好きなキャラクターのキーホルダーが入ったガチャガチャができる/ハロウィン・クリスマスなどシーズンごとに別途おやつのカ チャガチャができる			